



議会だより

かみかわ

ハートがふれあう住民自治のまち



神河町
マスコット
キャラクター
「カーミン」

第 64 号

令和 2 年 7 月 8 日



新型コロナ休校後の初登校

第5期神河町議会後半がスタート	2 ~ 3
議案審議の様子	4 ~ 8
委員会の活動	9 ~ 12
2人が登壇 いっぱん質問	13 ~ 15

第93回臨時会が5月8日に開催され、議長に廣納良幸議員、副議長に澤田俊一議員が選出されました。各委員会構成なども行い、第5期神河町議会の後半がスタートしました。

後半がスタート

**安全で安心して暮らせる・
大切な命を守る神河町を創ります！**

議長 廣納良幸（柏尾）



神河町議会議長就任に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

議長職の重責と身に余る光栄さとして、大いに緊張いたしております。平素は議会活動に対し、格段のご理解、ご協力、ご支援をいただきありがとうございますこと、厚く御礼を申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症や近年増加している豪雨・台風等に対しても、十分な対策を講じ、町民の皆さまの生命・財産を守り、安全で安心して暮らせる環境づくりに努めてまいります。また、人権にも十分配慮し、不幸な出来事が起きないように、細心の注意を払ってまいります。

最終的な目標は、町民の皆さまの更なる福祉の向上でございます。町民の目線に立ち、全議員一丸となって邁進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

総務文教常任委員会

○担当することから

総務課、税務課、会計課、教育委員会の事務の調査。

委員長	三谷克巳
副委員長	小島義次
委員	安部重助
委員	藤原日順
委員	藤原裕和
委員	栗原廣哉
委員	澤田俊一
委員	廣納良幸

民生福祉常任委員会

○担当することから

住民生活課、健康福祉課、上下水道課、公立神崎総合病院の事務の調査。

委員長	吉岡嘉宏
副委員長	小寺俊輔
委員	藤原日順
委員	小島義次
委員	藤森正晴
委員	藤原裕和
委員	廣納良幸

産業建設常任委員会

○担当することから

地域振興課、建設課、地籍課、ひとまちみらい課の事務の調査。

委員長	栗原廣哉
副委員長	藤森正晴
委員	安部重助
委員	三谷克巳
委員	小寺俊輔
委員	吉岡嘉宏
委員	澤田俊一

議会の構成が替わりました

第5期 神河町議会

議員間の討議を充実し

議会の力を高める努力をします

副議長 澤田俊一（福本）



神河町議会副議長就任に当たり、ご挨拶を申し上げます。

臨時会における議員間の選挙により、副議長の重責を担うことになりました。身が引き締まる想いであります。

浅学菲才の身ではありませんが、副議長としての職務を遂行すると共に、議長の後援として町政の発展と議会の公正かつ円滑な運営に、一所懸命に努めてまいります。

議会の現状は、審議と

いう名のもとに、執行部の提案に対して、個々の議員がそれぞれの考えで質問し、正す場になっていきます。町民の皆さまの多様な意見を代弁する議員として、個々の議員の考えの違いを認め合い、議員間で議論することが、議会としての力を高めることと信じています。

今後とも皆さまのより一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。副議長就任のご挨拶とさせていただきます。



議会選出監査委員

小寺 俊輔

議会運営委員会

委員長 安部 重助
副委員長 三谷 克巳
委員 吉岡 嘉宏
委員 栗原 廣哉
委員 澤田 俊一

広報公聴活動調査特別委員会

委員長 小島 義次
副委員長 吉岡 嘉宏
委員 藤原 日順
委員 藤森 正晴
委員 栗原 廣哉
委員 澤田 俊一

人権文化推進特別委員会

委員長 安部 重助
副委員長 小寺 俊輔
委員 三谷 克巳
委員 藤原 裕和

事務組合議会議員

中播衛生施設

事務組合

議員 廣納 良幸
議員 吉岡 嘉宏

中播北部行政

事務組合

議員 廣納 良幸
議員 澤田 俊一
議員 吉岡 嘉宏

6月 定例会

第95回定例会は、6月16日から29日までの14日間の会期で開催されました。各委員会報告、諸報告に続き、町からは報告5件、人事案件1件、条例の一部改正6件、契約1件、補正予算9件、承認1件の計23件が提案され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。また、一般質問は、2人の議員が行いました。今回の定例会は、新型コロナウイルス感染症対策のため傍聴は控えていただき、ケーブルテレビ中継での視聴をお願いしました。

中播公平委員会委員の 選任の件

中播公平委員会は郡内3町で共同設置されています。神河町からは前任の森本佳也氏が任期満了になり、今回新しく谷口勝則氏を選任したい旨の提案がありました。全会一致で選任に同意しました。任期は令和6年6月30日までの4年間です。



谷口 勝則氏

条例の一部改正

〔町職員の特殊勤務手当に関する条例〕

新型コロナウイルス感染症に対処するため、感染症防疫作業手当の特例として改正するものです。神崎総合病院に勤務する医師、看護師等が感染者の診療等に従事した場合に、1日限度額4000円を手当として支給する改正です。

〔債権管理条例〕

町の私債権（貸付金など）の納付が遅滞となっているときに、公債権（税金など）も滞納している場合には、債務者の公債権の情報を相互利用することができるよう改正です。

手数料条例

今まではマイナンバー通知カードの再交付の手料は500円で手続きできていましたが、今回の法改正により、令和2年5月25日以降通知カードが再交付できなくなりました。マイナンバーカードの再交付は従来どおりできます。

〔消防団員等公務災害補償条例〕

非常勤消防団員等が公務により死亡・負傷、あるいは疾病等で障害の状態になった場合の補償額が増額になります。また、障害補償年金も固定率から事故発生日における法定利率にする改正です。

貸工場建築工事 請負契約の件

福本地内で貸工場用地の整地が終わり、貸工場とビニールハウスの建築工事請負契約を議決しました。貸工場は42.3m×62.2mの平屋建てで、ビニールハウスは9.2m×21.6mが2棟です。入札で但南建設(株)が落札し、契約金額は1億887万円です。

令和2年度一般会計 補正予算(第3号)

今回の補正では、歳入歳出それぞれ3383万9000円を追加し、総額を95億6796万4000円とするものです。歳入については、国庫支出金、県支出金、町債等が増額となり、繰入金などが減額になっています。歳出については、衛生費・民生費・農業費・商工費・教育費が増額になっており、総務費・土木費が減額になっています。主な内容は4月異動による人件費の増減、また国の補助により、小・中学校ギガスクール実施として各校にタブレット端末機器の導入による増額です。



貸工場完成予想図

公立神崎総合病院事業

会計補正予算(第1号)

神崎総合病院では、4月異動による人件費の減額、新型コロナウイルス感染症による対策費増と患者数の減による医業収益減などがあります。新型コロナウイルス感染症対策事業補助金として県から2159万1000円が計上されています。

国土強靭化地域計画の策定の件

国土強靭化基本法が平成25年に施行され、県においても平成28年に国土強靭化地域計画が策定されました。それに基づき、防災・減災施策を効果的に推進し、強靭な地域づくりを進めていくための計画策定です。基本目標・対象となる災害・脆弱性の評価・対応策や施策の重点化などが盛り込まれており、町防災ハザードマップも最新のものが添付されています。

令和2年度一般会計補正予算(第4号)追加提案

第3号の補正予算に続いて第4号では、歳入歳出それぞれ1億6359万8000円を追加し、総額を9億3156万2000円とするものです。主な歳入は新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金1億1807万5000円と、教育費の国・県補助金として学校再開支援補助金や学習指導員配置事業補助金などです。主な歳出は「新しい生活様式」への感染症予防対策事業、防災備蓄品購入費、幼・小・中学校の手洗いセンサー式蛇口取替工事費などです。また、地域経済活性化のため、子育て世帯地域商品券、全戸に1万円の元気回復商品券の配付、町内での宿泊者に観光商品券の贈呈が盛り込まれています。

新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を提出しました

5月21日に、議会から新型コロナウイルス感染症対策についての要望書を町長に提出しました。町独自の支援対策の充実を要望するものです。

この要望に対しての施策は一般会計補正予算(第4号)に反映されています。

要望書の要旨

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、迅速かつ的確な対策を講じていただいているところです。一日も早い収束・第二波に備えた感染予防対策として、速やかな対策を講じていただきたい。また、本町として「大好き!私たちの町かみかわ」のキャッチコピーにふさわしい全世帯対象の施策を実施されることを重ねて要望します。

1. 感染症拡大防止対策の周知徹底について

- ・新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報を収集し、町民への迅速かつ丁寧な情報発信。
- ・緊急事態宣言解除後の、①アルコール消毒や手洗い。②マスクの着用。③3つの密の回避、収束後の「新しい生活様式」の施策の検討を行うこと。

2. 生活支援が必要な方々への積極的な対応について

- ・感染を心配されている全町民に対しての不安解消。
- ・特に配慮が必要な高齢者・障がい者・妊産婦・子育て中の保護者・ひとり親世帯など、ケアが必要な方々への支援策を積極的に実施すること。

3. 経済対策の強化について

- ・影響を受けている事業所や収入が大きく減った世帯の実態把握と相談体制の強化。
- ・地域振興券の発行など、全世帯にいきわたる緊急的な町独自の支援施策の実施。

4. 支援策に係る財源確保について

- ・第二次臨時交付金の交付見込みの中、国や県の動向を見ながら実効性のある利活用計画の早期策定。
- ・活用可能な交付金等の研究を重ね、国や県へさらなる財政支援を要望すること。

第93回臨時会

令和2年5月8日開催

峰山高原ホテルリラクシア
及び峰山高原スキー場の指
定管理者の変更について

指定管理者の変更につ
いて、専決処分報告が
ありました。

変更前…(株)マックアース
変更後…(株)MEリゾート
播磨

変更後の指定期間は令
和2年4月1日～令和9
年3月31日です。

*これらの変更は(株)マッ
クアースから新設分割さ
れた(株)MEリゾート播磨
による承継です。

令和2年度一般会計 補正予算(第1号)

・新型コロナウイルス感
染症対策にかかる事業

①特別定額給付金事業

国民一人当たり10万円
の一律給付、対象者1万
1191人、事務費等5
17万1000円。全額
国庫補助金。

②子育て世帯臨時特別給
付金事業

子育て世帯の支援の
ため、児童手当受給世
帯(0歳～中学生のいる
世帯)に児童一人当たり
1万円を支給する。対象
児童13000人、給付金
1300万円、事務費等
223万1000円。全
額国庫補助金。

③休業要請事業者経営継
続支援事業

国の持続化給付金に加
え、県・市町協調事業で
次のとおり支給する。中

小法人100万円、個人
事業主50万円。ただし、
飲食店及び旅館・ホテル
は中小法人30万円、個人
事業主15万円。対象数4
08事業所。全額地方創
生臨時交付金。

・貸工場施設整備工事請
負費 2082万円増
福本区内の貸工場建設
に係る共通仮設費等の諸
経費の増。

*議会からは高額な増
額補正に対し、町の設
計書精査の厳格化を求
めました。



議場についたてを設置

臨時会・本会議の開催
に当たり、議場の机にビ
ニールを張った木製のつ
いたてを設置しました。

このついたては新型コ
ロナウイルス感染症対策
のため、兵庫土建組合神
崎分会様より寄贈いただ
きました。

町当局の出席者の削減
等も検討しましたが、議
場の換気・マスクの着用
等を徹底して通常どおり
開催しました。



議場に設置されたついたて

第94回臨時会

令和2年5月14日開催

条例の一部改正

〔税条例〕

(主なもの)

・上位法の改正により、新型コロナウイルスの影響により収入に相当の減少があった方は、町税の徴収猶予を1年間受けることができますようになります。

・軽自動車税(環境性能割)の臨時的軽減措置は令和元年10月1日から令和2年9月30日までに取得した自家用乗用車が対象でしたが、新型コロナウイルスの影響により、令和3年3月31日まで延長されます。

〔国民健康保険条例〕

(傷病手当金について)

・国民健康保険加入者で、給与等の支払いを受けている方が新型コロナウイルス感染により3日以上就労できなくなった場合、申請により、傷病手当金が支給されることとなります。

〔国民健康保険税条例〕

(国税の減免について)

・新型コロナウイルスの感染により死亡されたり、重篤な健康被害を受けられ、収入が前年比10分の3以上減少している場合、申請により、国税の減免が行われます。

〔介護保険条例〕

(介護保険料の徴収猶予及び減免について)

・新型コロナウイルスの影響により、収入に相当の減少があった方は、介

護保険料の徴収猶予を1年間受けることができるようになります。また、感染により死亡されたり、重篤な健康被害を受けられ、収入が前年比10分の3以上減少されている場合、申請により、65歳以上の方の介護保険料の減免が行われます。

〔後期高齢者医療に関する条例〕

(傷病手当金について)

・75歳以上の後期高齢者医療加入者で、給与等の支払いを受けている方が新型コロナウイルス感染により3日以上就労できなくなった場合、申請により、傷病手当金が支給されることとなります。

*保険料の徴収猶予及び減免は、兵庫県後期高齢者医療広域連合の条例により実施されることになりました。

令和2年度一般会計

補正予算(第2号)

・新型コロナウイルス感染症対策にかかる事業費

(主なもの)

① 神河町事業所元氣回復支援金給付事業

町内の中小企業者のうち、売上げが20%以上減少している法人に30万円、個人に15万円を支給する。事業費1億65万円のうち、国の臨時交付金4000万円、町の一般財源6065万円。

対象・法人182件、個人307件。

② 子育て世帯地域商品券助成事業

子育て世帯の支援及び町内商工業者の経営活性化のために商品券(2万円)を0歳から高校生のいる世帯に交付する。事業費3256万円のうち、臨時交付金3100万円、町の一般財源156万円。

対象・828世帯1530人。

反対討論

藤森 正晴

全世帯への支援策の第2弾を

新型コロナウイルスの影響により、売上げが減少している事業者、また、子育て世帯への支援については理解する。

しかし、全世帯への支援策がない。

他市町では水道料金等の免除・減額等が行われている事例もある。

特別定額給付金(10万円)は国による支援であり、町の支援ではない。どのような支援策をするのか注目されている。

どこよりも早く、町独自の策を実施すべきではないか。

「大好き！私たちの町かみかわ」住むならやっぱり「神河町」の魅力発信は今である。

町民を振り向かす！神河町独自策の第2弾を！

議案等の審議結果

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆ ※第93回臨時会(5月8日開催)

議案番号	件名
第34号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(神河町税条例等の一部を改正する条例)
第35号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(神河町国民健康保険条例の一部を改正する条例)
第36号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(神河町公の施設(峰山高原ホテルリラクシア)の指定管理者の変更について)
第37号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(神河町公の施設(峰山高原スキー場)の指定管理者の変更について)
第38号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(令和元年度神河町一般会計補正予算(第5号))
第39号	神河町学童保育クラブ設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第40号	令和2年度神河町一般会計補正予算(第1号)

◆賛否の分かれた議案等◆

発議番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
					廣納	三谷	澤田	小寺	吉岡	小島	欠番	藤森	藤原裕	栗原	澤原	安部
第3号	神河町議会委員会条例の一部を改正する条例制定の件	9	1	可決	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	-

・○は賛成、×は反対です。安部議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。 ・7番は議員辞職により、欠番となっています。

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆ ※第94回臨時会(5月14日開催)

議案番号	件名
第41号	神河町税条例の一部を改正する条例制定の件
第42号	神河町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件
第43号	神河町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件
第44号	神河町介護保険条例の一部を改正する条例制定の件
第45号	神河町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第47号	令和2年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

◆賛否の分かれた議案等◆

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
					安部	三谷	藤原日	小寺	吉岡	小島	欠番	藤森	藤原裕	栗原	澤田	廣納
第46号	令和2年度神河町一般会計補正予算(第2号)	9	1	可決	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	-

・○は賛成、×は反対です。廣納議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆ ※第95回定例会(6月16日~6月29日開催)

報告番号	件名
第1号	専決処分の報告の件(交通事故に係る損害賠償の額の決定及びその和解)
第2号	令和元年度神河町一般会計予算繰越明許費に係る繰越計算書の報告の件
第3号	令和元年度神河町下水道事業会計予算に係る繰越計算書の報告の件
第4号	令和元年度兵庫県町土地開発公社の事業報告の件
第5号	専決処分の報告の件(交通事故に係る損害賠償の額の決定及びその和解)

議案番号	件名
第48号	中播公平委員会委員の選任の件
第49号	神河町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第50号	神河ふるさとづくり応援寄附条例の一部を改正する条例制定の件
第51号	神河町債権管理条例の一部を改正する条例制定の件
第52号	神河町手数料条例の一部を改正する条例制定の件
第53号	神河町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定の件
第54号	神河町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件
第55号	神河町貸工場建築工事請負契約の件
第56号	令和2年度神河町一般会計補正予算(第3号)
第57号	令和2年度神河町介護療育支援事業特別会計補正予算(第1号)
第58号	令和2年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
第59号	令和2年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
第60号	令和2年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)
第61号	令和2年度神河町下水道事業会計補正予算(第1号)
第62号	令和2年度神河町下水道事業会計補正予算(第1号)
第63号	令和2年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第1号)
第64号	令和2年度神河町一般会計補正予算(第4号)

承認番号	件名
第6号	神河町国土強靱化地域計画の策定の件

委員会の活動

総務文教

総務文教

5月21日開催

← 税務課

Q 新型コロナウイルス感染症の関係で、国税や地方税の納期限が延長されるが、その概要は。

A 今回の徴収猶予の特例分は、令和2年2月1日から令和3年1月31日までに納期限が到来するものに限定される。収入が昨年度と同じ時期と比べて20%以上減少している納税者が対象となる。ほぼすべての税目が対象となり、納期限ごとの申請により1年ずつ延長する。詳しい案内は、それぞれ納税通知書・納付書に同封する。

← 会計課

令和2年4月末の現金等保管総額は53億876万9595円です。5月21日時点の一時借入金は10億円で月末に返済予定で、一時預貯金は6億円となっています。

2月13日に兵庫西農業協同組合寺前支店に対して、地方自治法に基づく指定金融機関の公金の収納等の定期検査を実施した結果、収納・支払事務関係帳簿・証拠書類の整理・保管状況は適切に処理されていたと報告を受けました。

← 教育課

越知谷小学校・幼稚園の閉校（園）式と山村留学神河やまびこ学園の閉園式は、新型コロナウイルス感染症対策のため延期されており、開催日は未定です。

幼稚園・小学校・中学校の夏休みは短縮し、8月8日から16日までの9

日間となります。

学校給食は、夏季の暑い期間にも調理・配送を行うので、コンテナ倉庫のエアコン整備、保冷剤を使用する食缶と熱い食缶を区分したコンテナ配送など、食中毒をさないう体制を構築していくとのこと。

ギガスクール構想では、小・中学校すべての児童生徒が「一人一台」の状況でパソコンやタブレット端末が使える環境を、令和5年度までに整備する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言を受けて、国の補正予算を財源に前倒しで本年度中に整備を行うとのこと。

Q 夏休みの短縮により、一番暑いときに登下校をする。幼稚園児のバス通園を認めるなどの対策は。

A 7・8月に登校（園）させるのは初めての体験となる。今後の子どもたちの様子を見ながら、

授業の内容や登下校の方法について、検討しなければならぬ。幼稚園児については、保護者送迎も含め検討している。

Q 授業時間の不足から運動会や学習発表会などの中止を決めた自治体があるとの報道もある。思い出に残る学校行事であり、保護者も不安になるので、適切な時期に判断を。

A できるだけ早く決めていきたい。

Q 町民温水プールのその後の経過は。

A 毎月、業者による機械のメンテナンスを行い、快適な温水が作れるようにしている。ただし、8台あるチラーのうち、1台が故障し全く動かない状況である。

長谷地区から、施設の存続を求める署名が提出されており、役場内部で今後の取組を協議している。先日も長谷地区の代表者と協議を行った。

← 総務課

令和元年度のふるさとづくり応援寄附金は、1214件で、金額は2050万9000円となりました。

Q ふるさとづくり応援寄附金の額が前年度に比べ減少しているが、何が原因か。

A 特徴ある返礼品がないのが実情だ。新たな返礼品を開拓し、寄附金額を増やしたい。

Q 新型コロナウイルス感染症対策で、中止となっている事業も多い。今後の事業の進め方は。

A 『事業の中止をいつの段階で判断しなければいけないか。中止せずにやれる方法はないのか。実施したときの効果はどうか。中止した場合、来年度にどのような影響があるのか。』を想定して判断し、取り組むように、各部署に指示している。

5月27日開催

公立神崎総合病院

病院改革プランの

「職員の意識改革」の具体的な内容は、

これまで経営状況が深く伝えていなかったと思われる。事務長として、まずは借金体質になって今の状態が普通ではないことを伝えていく。

町民にとって、なくてはならない病院であるために、どうすべきか。

これまで、当院には「患者サービス向上委員会」的な組織が無かった。創設を提案し、その中でホスピタリティ、つまり、患者に対する思いやりの視点での取組について議論していく。

医療収益の6割を占める入院収益を上げるための方策は。

できるだけ救急患者を受け入れ、入院患者の増に結び付けたい。

当直医師としては専門外の患者をとりたくないとの心理が働くものだが、オンライン体制を活用し、対応するよう徹底したい。

健康福祉課

特別定額給付金支給事務について、次の質疑応答がありました。

21世帯について申請の不備があったとのことだが、解消の道筋は。

電話で書類不足の説明をし、高齢等の理由で来庁できない世帯には職員が訪問して対応している。近日中にすべて解消できる見込みである。

オンライン申請が45件とのことだが、トラブルは無かったか。

世帯主以外の申請や口座情報の未記載が5件あった。郵便申請に変更していただいた。

特別定額給付金以外では次のとおりです。

新型コロナウイルスによる生活困窮の相談はあったか。

社会福祉協議会の緊急小口資金は、特別貸付も含んで15件程度の問合せがあり、対応済み。家賃支払については、県が委託しているワーカーズグループに家賃補助の申請をするよう伝えていく。生活保護につながるような相談は無かった。

いづみ福祉会が神崎高校の南側に障がい者施設を建設されたが、雇用には結び付いたのか。また、ゆめ花館での見込みは。

いづみ福祉会は、食事や介助で職員2、3名を雇用されたとのこと。ゆめ花館は、新施設完成後に生活介護事業を追加するので、複数名を募集されると思われる。

住民生活課

自主防災の総会が中止になり、地区防災計画の作成の説明を受ける機会がなくなった。今後、その手順や内容を説明してもらえれば設けられるのか。

昨年度実施の防災住民調査の結果も踏まえて、自主防災の皆さんに説明する。時期は未定である。

避難所での3密対策はできているか。

現時点では十分にできているとは言えない。自宅の2階に上がる垂直避難、あるいは親類宅に身を寄せるほうが良い場合もあり、避難所に多くの人が固まらないように周知していきたい。早急に対策を進めていく。

AEDの購入に際して、日本赤十字社を通じて半額程度になることを周知できているのか。その旨は各区長あてに通知済みである。

上下水道課

下水道統廃合計画では、将来的な広域処理を念頭に置くべきでは、水道事業については、県の指導もあって広域水道を目指す動きはあるが、下水道事業では今のところ無い。

人口減を考えると、下流の姫路市で受けてもらえるのが望ましい。だが、現実には県の調整が入らないと難しいと思われる。



産業建設

5月15日開催
6月10日開催

建設課

町道水走り中河原線改良工事は、令和2年度予算で町道寺前停車場線との交差点（上岩地内）を工事予定です。令和3年度に県道加美実粟線との交差点の工事を実施し、遅くとも令和4年度から全線供用開始する予定です。

橋梁長寿命化修繕事業について、令和11年度までに修繕する必要がある橋梁は85カ所で、令和2年度は、水ノ谷トンネルの補修設計、橋梁修繕工事（15橋）を予算計上しています。

Q この件について、次の質疑応答がありました。

A トンネルの補修は、橋梁長寿命化修繕事業の補助対象になるのか

主要な道路構造物の点検、修繕を行う事

業なので、橋梁、トンネル、横断歩道橋等が補助対象となる。

地域振興課

《農林業係》 林産物の有効活用

・ミツマタ

2月に為信区・大川原区から岡山県真庭市へ2回4トンを出荷しました。
・ウリハダカエデ

5月以降、道の駅にてメイプルシロップの販売を開始する予定です。

《商工観光係》

令和元年度の観光施設等の入込状況は、74万9640人、前年度比5万2982人（6.6%）の減となっております。

暖冬のため、スキー場の入込みが大きく減少し、さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの施設が落ち込んでいます。
また、次の質疑応答がありました。

Q 新型コロナウイルス感染症対策で実施する地域商品券は、生活支援策と経済対策がセットになった施策なので、取扱事業所について、できるだけ町内すべての小規模事業所に登録してもらえよう、努力してもらいたい。

A 小規模事業所すべてを回るのは難しいと思うが、漏れ落ちがないよう努力する。

地籍課

地籍調査は計画どおり順調に進捗しています。また、次の質疑応答がありました。

Q 現地調査は完了しているが、登記ができていないところがあるが

現地調査が完了してから登記まで3年かかる。地籍調査は、1年目は現地調査、2年目は地積確定・地図作成、3年目が登記の申請というサイクルとなっている。

ひとまち・みらい課

集落公園について、次の質疑応答がありました。

Q 集落公園の管理責任について、明確な基準を示してほしい。

A 遊具等の修理は町の補助金を活用していただき、管理はそれぞれの区にお願いしている。使用される方の安全のためにも、しっかりと検討していきたい。

貸工場整備事業

令和2年3月25日に(株)吉田組による造成工事が完了しました。

5月8日の臨時会で建築工事に係る補正予算を可決。6月3日に貸工場建築工事の一般入札が実施され、5社の入札があり、但南建設(株)が落札候補者となりました。

工事の完成は、令和2年12月28日の予定です。

アグリイノベーション事業

業者の施工不良により、台風で倒壊した作畑のイチゴハウス（4棟12アール分）の復旧工事が未了となっています。

この件について、次の質疑応答がありました。

Q 業者負担で復旧し、3月の定植に間に合うという説明を受けていたが、どうなっているのか

A ハウスを建てた会社の経営状況が悪く、復旧が遅れている。

Q 補助金を交付し、力を入れた事業なので、期限を決めて結論を出すべきでないか。補助金を返還してもらうという姿勢で挑んでいただきたい

A 事業を成功させることにおいては、町もアグリイノベーション河(株)も力を合わせる。しかし、果たすべき役割、責任は、しっかりと求めていくという毅然とした態度をとってほしい。

5月19日開催

町当局から、次の報告、説明を受けました。

地区別人権教室は新型コロナウイルスの関係で日程や開催方法を次のように、検討しています。

- ① 3密を避けた状態での開催。
 - ② 人権啓発映画のケーブルテレビでの放映。
 - ③ 社会教育指導員による人権教室のケーブルテレビでの放送。
- ※②については、多額の費用がかかるため、断念しました。



人権教室の様子（令和元年）

不登校と適用教室については、不登校者が8人、適用教室の利用者が5人います。学校に來れば友達関係や人間関係ができるので、それをきっかけに復帰できるようになればと取り組んでいます。適用教室を利用していない子には、指導員や教師が足を運び、状況を探りながら手を差し伸べ、心を開いてもらい、体験の中から自己有用感を高めていき、心の居場所をつくれなかななど、心理的・物理的な面を考えながら進めていきたい。

寺小っ子体験塾や杉の子学級の参加児童・生徒が減っている状況だが、1人でも希望者があれば、開設していく予定です。今後、対象児童が減少した場合は、人権学習と合同で行うことも視野に入れるなど、少ない中でも実施していく方針です。

新型コロナウイルスに関する人権問題については、ガイドライン・マニュアル等を考え、行動的・心理的の両面から呼びかけていきます。

また、多くの会合が中止になっているが、地域の交流の場や呼びかけの場、一緒に考える場等、広く考えていく機会をつくっていきたい。

本人通知制度の登録率は、県内では3番目であるが、まだまだ低いレベルです。法人・個人の第三者請求が65件あったが、問題は発生していません。また、本人に心当たりがない戸籍謄本等の請求

に対し開示請求すると、文書回答が2週間以内との基準があるが、できるだけ早く対応していきたいです。



自分のいいところさがし



調理を通じて仲間づくり

みなさんの **声** を 町政に

一般質問 は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は2人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項	ケーブルテレビ再放送日
14	吉岡 嘉宏 議員	①新型コロナウイルス感染症対策事業として、水道料金の減免を ②これまでの一般質問の提案事項の進捗について	8月4日(火) 午後7:00~
15	小島 義次 議員	①だれも取り残さない福祉施策を ②防災と福祉の連携による個別支援計画作成の促進 ③新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営	8月4日(火) 午後8:00~

主な議会日程

8月
6日(木) 産業建設常任委員会
11日(火) 民生福祉常任委員会
18日(火) 総務文教常任委員会
26日(水) 議会運営委員会

9月
1日(火) ~ 4日(金)
第96回定例会
(提案・質疑等)

8日(火) 総務文教常任委員会
(付託議案)

9日(水) ~ 10日(木)
決算特別委員会

16日(水) ~ 17日(木)
定例会(一般質問)

25日(金) 定例会最終日(採決)

※この日程は変更となる場合があります

本会議等の傍聴について

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、しばらくの間、本会議等の傍聴については、できる限りお控えいただくようお願いいたします。皆さまの御理解と御協力をお願いいたします。



吉岡 嘉宏 議員

- ◎新型コロナ感染症対策事業として水道料金の減免を
- ◎若者遠距離通勤者支援金の提案をしたがその後は
- ◎コミバスのデマンド化（予約型バス）の取組状況は
- ◎旧栗賀小学校の跡地利用の取組状況は

◎新型コロナ感染症対策事業として水道料金の減免を

Q 自粛要請により在宅時間が長くなり、電気代や水道料金の負担も増加する。町内の経済支援として給水契約者全員に水道料金のうちの基本料金である月額約1900円を3か月免除できないか。必要な予算額は2600万円で、一般会計の財政調整基金から繰り入れすればよい。

A 町長 兵庫県内41市町中、減免措置は31市町にのぼる。当町にも必要と考える。

A 町長 投資額以上の効果が期待できる対策として、地域経済の回復につながる支援策を検討したい。今後の動向を注視し、臨機応変な対応を心がける。

◎若者遠距離通勤者支援金の提案をしたがその後は

Q 40歳未満で30キロ以上の通勤をされている町民に対し、月額5000円を3年程度通勤補助金として交付できないか。3年後は新卒者と転入者のみの制度とすれば、財政負担も少ない。第2次長期総合計画の際に、アンケートをとり検討する予定と聞いていたがどうなった。

A 町長 先行実施の朝来市の効果が薄いと

の判断を参考に、神河町の第2期の地域創生戦略事業には記載していない。

Q 朝来市の制度は移住者と新卒者が対象、私が主張している制度は地元在住者を対象としている。それは遠距離通勤者への感謝の意と今後就職を迎える若者に町内在住を考えてほしいから。

今後地方創生交付金のメニューにこの制度が入れば実施するか。

A ひと・まち・みらい課長 そういふ情勢になれば考慮する。

◎コミバスのデマンド化（予約型バス）の取組状況は

Q これまで複数の町議会議員により、戸口から戸口まで町民を送迎するデマンド（予約型）交通の実施を訴えてきたが、最新の情報を。

A ひと・まち・みらい課長 コロナウイルス禍により、実施が遅れていたが、長谷エリアで9月から社会実験を始める予定。

利用者のニーズ把握のため、同エリアでアンケート調査も行う。

Q このデマンド化は一部の地域の実施としないように。人口密集地や商店・施設が豊富な地域であっても、足が痛くてバス停まで歩けない方や老夫婦世帯も増えている。戸口から戸口までの送迎サービスは全町的な取組とされたい。

A 副町長 地域の助け合いの部分も含めて、長谷エリアでの検証結果により考えたい。

◎旧栗賀小学校の跡地利用の進み具合は

Q 現在の進み具合とスケジュールは。多目的な公園の案はどうなった。

A 町長 今回、施設の面積を小さくし、町が家賃を払う、あるいは買い取るという部分を明確に示した上で、再度、PFI事業の形で募集する。廃止する公共施設の補完と合わせて多目的公園も盛り込む方向で検討する。

Q 地元の意向をくみ取る努力をしっかりと行ってほしいがどうか。

A ひと・まち・みらい課長 8月か9月に地元説明会の予定。令和3年度の予算に間に合うようにしたい。

新型コロナウイルス感染症に対応した 避難所運営は？



小島 義次 議員

町長

避難所運営ガイドラインに基づき、
適切に対応していきたい

Q ソーシャルディスタ
ンスが確保できる避
難所数は。衛生物資・間
仕切りなどの運営物資は
準備できるか。

A 防災特命参事 標準
世帯3人家族の場合、
20㎡を基準面積として収
容人員を当面は定める。

町指定避難所だけでな
く各区の公民館の活用も
お願いしたい。また、町
内の指定管理の宿泊施設
(グリーンエコー笠形等)
にも避難所としての活用
を依頼している。消毒剤・
非接触体温計・間仕切り
など今回の補正予算で順
次準備をしていく。

Q 避難所開設時の、健
康管理体制や計画は。
A 防災特命参事 感染
症対策として、避難
者受入れの際、検温等で
健康状態のチェックを行
う。感染症の疑いのあ
る方については、隔離ス
ペースで休んでいただき、
必要に応じて救急車で病
院へ搬送する。

職員が避難所に行けな
い場合も想定されるので、
リモートによる避難者対
応も検討する。

**防災と福祉の連携による
個別支援計画作成の促進**

Q 町長 日頃からの防
災に対する意識付け
や準備・訓練が重要であ
り、事前に個別支援計画
を作成しておくことなど
ハード面・ソフト面から
防災対策の充実に取り組
んでいく。

A 町長 日頃からの防
災に対する意識付け
や準備・訓練が重要であ
り、事前に個別支援計画
を作成しておくことなど
ハード面・ソフト面から
防災対策の充実に取り組
んでいく。

Q 昨年、寺前ブロッ
ク等で行われた防災訓
練の成果・課題は。
A 健康福祉課長 安否
確認方法、福祉避難
所への運搬方法、地域・
行政・福祉避難所との連
携が確立できた。

しかし、要支援者が避
難所に行くことに躊躇
される場合もあるので、
ノーマライゼーションの
定着を目指す。

Q 支援計画に該当する
ケースやその数は。

A 健康福祉課長 個別
支援計画が必要な
ケースは112件、家族
だけで避難できないケー
スは65件ある。

Q 地域の支援力が低く
なってくるケースも
あるが、その対応は。
A 健康福祉課長 訓練
時からブロックでの
取組として、協力体制・
連絡体制の構築が重要で
ある。そのためにも、地
区防災計画の早期策定が
重要だと考える。

Q 少人数の障がい者
だれも取り残さない福祉
施策を

A 健康福祉課長 障が
い者手帳保持者は7
02名。重度視覚障がい
の方は19名、重度聴覚障
がいの方は8名などであ
る。

Q 特に視覚障がいは、
活動への影響が大きい。
一緒に活動できない
方に寄り添う支援は。

A 健康福祉課長 視覚
障がいのある方は、
活動や行動に大きな制限
が生じている。ノーマラ
イゼーション、ユニバー
サル社会の実現など町民
意識の醸成を目指す。

Q 少人数の障がい者が
互いに連絡、連携で
きる施策、またそのよう
な場の設定の手助けはで
きないか。
A 健康福祉課長 個々
のニーズに応じてさ
まざまな福祉サービスが
利用できる仕組みがある。
障がいに応じた生活上必
要な機器や補装具の購入
の補助。交流の場などで
一緒に活動していただく
ことでプラスになること
もある。

また、視
覚障がい者
の方を対象
とした組織
の設立も一
つの方法か
と思う。

ひとこと

避難と福祉の
連携・調和を

まちかど

インタビュー

第1回



取材日：6月17日

今回から新企画として町内の住民の皆様から町政や議会に対するご意見、ご要望をお聞きする「まちかどインタビュー」を始めました。
第一回は神河町区長会を代表して岩城正彦区長、会長様（南小田区）にお話を伺いました。



岩城 正彦さん

自己紹介をお願いします

福崎西中学校で38年の教員生活を終え、神崎郡青少年補導センターに5年間勤務しました。
区長として6年目（3期）を迎えました。
家族は妻と実母。隣に長男家族が住んでいます。趣味はゴルフとギターです。

区長としてどのような苦労がありますか

自然災害、特に台風、大雨等で危険が迫っているときの対応、対処に責任の重さを痛感します。
また、役員（委員）のなりが手がない中、選出、推薦することに苦慮します。

町にどのようなことを望みますか

人口減少を防ぐための施策が、町民の負担にならないように配慮しながら、すべての町民の幸せな生活を保障してほしい。
また、多数ある協議会、委員会等をコンパクトに改編し、目的を単純化、分かりやすくしてほしい。

議会にどのようなことを望みますか

議論は深く、厳しく、効率的に行い、決定に対しては全議員が一丸となって取り組んでほしい。
また、議員の活動を見えやすくする工夫をしてほしい。

あとながき

あじさい郷

コロナ禍過ぎて

我かえる



新型コロナウイルス感染症がまだまだ収まらないようです。自然に目を移すと、季節は何事も無かったかのように静かに過ぎていきます。

本年5月に議会の構成替えがあり、広報公聴活動調査特別委員会も委員の交代がありました。裏表紙の記事も新しくしました。前号までは学校の子どもの様子を伝えましたが、今回は地域の皆様方のお声を紹介させていただきます。広報委員から声かけがありましたら、お気軽にご意見をお寄せください。

これからも皆様方に親しんで読んでいただける議会だよりを目指してまいりますので、ご協力をよろしくお願ひします。

(Y・K)



<猪篠区のおじさい>

- | | | | | | | |
|----|----|----|----|------|-----|-------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 特別委員会 |
| 澤田 | 栗原 | 藤森 | 藤原 | 吉岡 | 小島 | |
| 俊一 | 廣哉 | 正晴 | 日順 | 嘉宏 | 義次 | |